

| | | | | | |
|---|-----------|------|--|-----|------------------|
| 科目名称: 幼児教育実習指導 | | | | | |
| 担当者名: 斎藤修啓、枝村美夏、岡部智子、木谷葉子、永坂晃子、三谷靖子、川邊音生 | | | | | |
| 科目群(区分) | 開講予定時期 | 授業形態 | 必修・選択 | 単位数 | 卒業認定・学位授与の方針との関連 |
| 専門展開 | 3年前期～4年前期 | 演習 | 選択 | 1 | 子ども福祉学科(4) |
| アクティブ・ラーニング実施の有無 | 実施無し | | ナンバリング | | 24200380 |
| <p>授業概要: 幼稚園教諭一種免許取得に必要な幼児教育実習の意義・目的を明らかにする。卓越した専門性を持った保育者になるためには、机上の学習だけでなく、実際の子どもと関わる必要が生じる。子どもとの関わりから自らの保育を捉え直し、そこから得た課題を次の実践で取り組む。こういった学びの循環の効果を高めるために、実習の目的意識を把握し、自己課題を明確にして実習に臨む。実習後には取り組みを振り返り、理想とする保育者像、自らの保育観の形成を促し、社会にフィードバックできる力を養う。</p> | | | | | |
| <p>到達目標: 自らの課題に基づいて実習計画を行い、準備する。子ども理解を踏まえた教材研究、教材製作、指導案作成に取り組み、記録の視点を明確にする。実習の考察から自らの課題と保育観を掴む。</p> | | | | | |
| 授業計画 | | | 準備学習とその所要時間(分) | | |
| 第1回 保育実習Ⅱ振り返り①「保育所の生活の理解」 | | | 保育実習Ⅱの実習簿を基に振り返りをしておくこと(90) | | |
| 第2回 保育実習Ⅱ振り返りⅡ②「部分指導、全日指導について」 | | | 保育実習Ⅱの実習簿を基に振り返りをしておくこと(90) | | |
| 第3回 実習報告会① | | | 幼児教育実習Ⅰに向けて自己課題を明確にする実習報告書作成(120) | | |
| 第4回 実習報告会② | | | 保育実習Ⅱ実習簿の整理、幼児教育実習Ⅰに向けての自己課題の明確化(60) | | |
| 第5回 幼児教育実習Ⅰの意義と目的、内容 関係書類の配布、課題発表 | | | 幼稚園教育要領の精読、実習園の概況について調べておくこと(90) | | |
| 第6回 課題、教材研究 | | | 実習園概要作成、実習関係書類作成、実習園でのオリエンテーションの実施、課題、教材制作準備(90) | | |
| 第7回 課題、教材研究 | | | 実習園でのオリエンテーションの実施、課題、教材制作準備(90) | | |
| 第8回 教材研究発表 | | | 事前体験学習の実施、課題、教材制作準備(90) | | |
| 第9回 教材研究発表 | | | 事前体験学習の実施、課題、教材研究の改善(60) | | |
| 第10回 指導計画立案(グループ指導) | | | 事前体験学習の実施、指導案作成、教材制作(90) | | |
| 第11回 指導計画立案(グループ指導) | | | 事前体験学習の実施、指導案作成、教材制作(90) | | |
| 第12回 指導計画立案(グループ指導) | | | 事前体験学習の実施、指導案作成、教材制作(90) | | |
| 第13回 指導計画立案(グループ指導) | | | 事前体験学習の実施、指導案作成、教材制作(90) | | |
| 第14回 指導計画立案(グループ指導) | | | 事前体験学習の実施、指導案作成、教材制作(90) | | |
| 第15回 指導計画立案(グループ指導)、夏期課題について | | | 事前体験学習の実施、指導案作成、教材制作(90) | | |
| 第16回 幼児教育実習Ⅰの振り返りと自己評価 | | | 幼児教育実習Ⅰの実習簿確認、実習振り返り課題(90) | | |
| 第17回 各自の記録を基にグループ討議① | | | 実習振り返り課題(60) | | |
| 第18回 各自の記録を基にグループ討議② | | | 実習振り返り課題(60) | | |
| 第19回 事例発表① | | | 実習報告書作成(60) | | |
| 第20回 事例発表② | | | 実習報告書作成(60) | | |
| 第21回 幼児教育実習Ⅱの意義と目的 | | | オリエンテーション準備(60) | | |
| 第22回 実習までの動きと関係書類の説明 | | | オリエンテーション実施、事前体験学習実施、実習園概要作成、実習関係書類作成(90) | | |
| 第23回 自己課題からの指導計画① | | | オリエンテーション実施、事前体験学習実施、自己課題の明確化、指導案立案、教材研究(90) | | |
| 第24回 自己課題からの指導計画② | | | 自主実習実施、自己課題の明確化、指導案立案、教材研究(90) | | |
| 第25回 自己課題からの指導計画③ | | | 自主実習実施、自己課題の明確化、指導案立案、教材研究(90) | | |
| 第26回 幼児教育実習Ⅱの振り返りと自己評価 | | | 幼児教育実習Ⅱの実習簿確認、実習振り返り課題(60) | | |
| 第27回 自己課題を基にグループ討議① | | | 実習振り返り課題(60) | | |
| 第28回 自己課題を基にグループ討議② | | | 実習振り返り課題(60) | | |
| 第29回 事例発表③ | | | 実習報告書作成(90) | | |
| 第30回 事例発表④ | | | 実習報告書作成(90) | | |
| 履修に必要な予備知識や技能: 保育実習を終えていることを原則とする。幼児教育要領解説を精読しておくこと。保育実習の記録から、自己課題を明確にしておくこと。 | | | | | |
| 課題に対してのフィードバック: 授業で提出した課題レポートや制作物については、点検・添削された後、次回以降の授業で返却する。その際、講評する。 | | | | | |
| 評価方法・基準: 課題実施状況(事前学習、教材研究、課題レポート、指導案作成、実習報告書)70%および受講態度30%。 | | | | | |
| 教科書: 幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説、実習テキスト。 | | | | | |
| 備考: | | | | | |
| 実務経験の内容・期間: 幼稚園教諭(岡部智子、22年) | | | | | |